

# 大学の世界展開力強化事業 取組実績 岡山大学

## 【構想の名称】(タイプA－ I CAMPUS Asia Pilot Program)

東アジアの共通善を実現する深い教養に裏打ちされた中核的人材育成プログラム。

## 【プログラムの目的・養成する人材像】

国際的視野と地域の文化に精通した公務員、医療、環境、生産などで3国の協業をリードできる中堅幹部候補を育成する。

## 【構想の概要】

岡山大学、吉林大学、成均館大学校が、アジア共通の価値観形成と次世代の中核的人材育成を目指し、深い伝統的な教養をもったアジアクラット(アジアの共通善に資する地域行政、民間組織の指導者)、地域医療をリードする医療人、3国の協業をリードできる企業中堅幹部候補等の輩出を目指す。同時に、東アジアの共通教育システムの構築を目指す。

(Starat-up Conference 2012年3月)

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

### 1 東アジア共通の教育体系確立

教育方法を相互に調整・改善し、最終的には東アジア共通の教育体系の確立を目指す。さらに、ジョイントディグリー制度を導入し、複数大学による共同指導を実質化する。

### 2 課題解決型の人材育成

共通善の実現に貢献できる人材を育成するための、日中韓に共通する課題に対応した課題解決型の演習、地域の自治体や企業との協働教育プログラムを取り入れる。

### 3 成績管理、単位の相互認定制度

共通教育を検討する委員会を設け、評価方法や講義の内容、単位の相互認定に関し「ラーニングアグリメント」を締結する。さらに、ピアレビュー制度を導入し、の授業の質を高めると同時に、相互に教育の経験を交換する。



## ■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

(成均館大学校SS/SV派遣学生 2012年2月)



### 1 実施した交流プログラムの概要

Start-up Conferenceで3校の事業内容が確認された。岡山大学からは吉林大学、成均館大学校に学生を派遣し、また成均館大学校から留学生を受け入れた。

### 2 予定される交流プログラムの準備状況

H24から長期留学、SS/SVに加えてサマー・セミナーが開始される。また、共通科目の設置、共通教科書作成、ナノ・バイオコースの開設が準備される。

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### 1 日本人学生の派遣

岡山大学からは、毎年吉林大学、成均館大学に長期(1年)各5名、ジョイント・サマーセミナー各10名を含む40～50名の院生、学生を派遣する。

### 2 外国人留学生の受入れ

吉林大学、成均館大学からは、毎年長期(1年)各5名、ジョイント・サマーセミナー各15名を含む50名以上の院生、学生を受け入れる。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本への受入	C 0,K12	C20,K32	C31,K43	C27,K39	C27,K39
中国への受入	J14,K 4	J25,K15	J25,K15	J32,K15	J27,K15
韓国への受入	J 5,C 5	J17,C 5	J17,C 5	J19,C 5	J24,C 5

注) H23は実績、H24以降は計画。

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### 1 日本人留学生の送り出し

吉林大学、成均館大学に岡山大学のランチオフィスを置き、研究テーマのマッチング、留学手続きなどがスムーズに行われるよう支援する。また、留学予定者に対する語学、東アジア文化論、異文化コミュニケーション論教育を強化する。

### 2 中国人、韓国人留学生の受け入れ

ランチオフィスでワンストップサービスを実現する。また、オンライン指導システムを構築する。岡山大学内では、宿舎、奨学金充実のほか、チューター制度、ランゲージカフェを通じたサポート体制を充実させる。

## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### 外部評価制度と成果の公表

インターナショナルレビュー・ボード(外部評価委員会)を設置し、教育内容の検証を行うとともに、教育システム構築の成果をホームページ等を通じて積極的に公表する。